2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	周産期・胎児医学／生殖医療／婦人科腫瘍学研究	味村 和哉

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）産婦人科領域の様々な病態における免疫の関与について習得するために免疫学的基礎を理解する。
（2）免疫学的理解を基礎として内分泌学的，分子遺伝学的解析手法についても習得する。
（3）免疫学的手法および内分泌学的，分子遺伝学的解析手法を理解して周産期・生殖・婦人科腫瘍における病態解析を遂行できる能力を修得する。
（4）周産期・生殖・婦人科腫瘍における臨床的・基礎的検討において統計学的手法を修得する。

婦人科悪性腫瘍に関する分子生物学的診断とがん薬物療法を行うための，分子生物学的な知識を修得し基礎研究を実施する。
（1）婦人科腫瘍の診断，治療法を習得するため，婦人科腫瘍学に関する臨床病理学的研究を行う。
（2）婦人科腫瘍に対する低侵襲治療の適応と実際を研究する。

授業到達目標

（1）周産期・生殖・婦人科腫瘍領域の病態における免疫学的関与について説明できる。
（2）免疫学的手法および内分泌学的，分子遺伝学的解析手法を用いて周産期・生殖・婦人科腫瘍領域の種々な疾患の病態解析ができる。
（3）臨床領域における技術を応用して，周産期・生殖・婦人科腫瘍領域の病態の解析ができる。
（4）周産期・生殖・婦人科腫瘍における臨床的・基礎的検討において統計学的手法を用いた解析ができる。
（5）婦人科悪性腫瘍の診断と治療の中での疑問点を解明するための作業仮説を立て，実証方法を検討することができる。
（6）独自の研究テーマを構想し，実験計画を立て，その実証を行うことができる。
（7）実験結果を適切に解釈し，査読制度のある論文に発表を行うことができる。
（8）婦人科腫瘍学に関する研究を計画し遂行できる。
（9）婦人科腫瘍に関しての臨床病理学的検討を行う。
（10）低侵襲手術における適応と問題点，その将来性について検討する。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎月	第２水	17:00 - 19:00	味村 和哉	周産期・胎児疾患・遺伝医学における疾患や病態について
毎月	第３水	17:00 - 19:00	村田 卓也	周産期・生殖・婦人科腫瘍領域における免疫学的関与について
毎月	第４水	17:00 - 19:00	杉原 弥香	栄養・プレコンセプションケアの概念について
毎月	第１木	13:00 - 15:00	松本 良	データを用いた統計学的解析について
毎週	火・金	14:00 - 17:00	本郷 淳司	変異遺伝子発現ベクターの作成，培養細胞への遺伝子導入，DNA，RNA，蛋白発現の解析，増殖能，形質転換能，腫瘍形成能の測定　など
毎週	月	15:00 - 16:00	坪内 弘明	研究手法について討議する。
毎週	水	15:00 - 16:00	太田 啓明	データ解析について討議する。

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）２週間ごとの実験内容報告に対し，指導・助言を行う。
（2）中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。
随時，実験ノートの提出により，実験の進捗状況をチェックし，助言・指導を行う。

教科書

ISBN-9781260462739, Williams obstetrics, [edited by] F. Gary Cunningham ... [et al.], McGraw-Hill, 2022
ISBN-9781975197100, Berek & Novak's gynecology,, [edited by] Jonathan S. Berek , Wolters Kluwer, 2023
ISBN-9780071442015, Fetology : diagnosis and management of the fetal patient, Diana W. Bianchi ... [et al.], McGraw-Hill Medical Pub. Division, 2010
ISBN-9781936113422, Molecular cloning : a laboratory manual, Michael R. Green, Joseph Sambrook, Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2012
ISBN-9784815918927, 症例から学ぶ婦人科腫瘍学入門, 井上正樹著, 永井書店, 2011

参考書
ISBN-9784897069265, マウス・ラット実験ノート : はじめての取り扱い,飼育法から投与,解剖,分子生物学的手法まで, 中釜斉, 北田一博, 庫本高志編, 羊土社, 2009 ISBN-9784897069203, イラストでみる超基本バイオ実験ノート : ぜひ覚えておきたい分子生物学実験の準備と基本操作, 田村隆明著, 羊土社, 2005 ISBN-9784897069272／9784897069289, 伝子工学実験ノート＜上／下＞（改訂第３版）, 田村隆明編, 羊土社, 2009 ISBN-9783030174088, Blaustein's pathology of the female genital tract, Robert J. Kurman, Lora Hedrick Ellenson and Brigitte M. Ronnett (eds.),, Springer, 2019
準備学習（予習・復習等）
（１）実験前に, 教科書・参考書等を読み, 約１時間程度の予習を行う。 （２）毎週, 履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。 （３）実験終了後, その日のうちにデータを記録する。 また内容に関しては１時間程度指導教員と検討会を開き, 今後の課題を抽出する。
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
１）研究計画の立案から検証に至るまでの科学的方法論・思考法を修得している。 （２）卓越した研究成果をあげ, 産婦人科学の深い学識を獲得する。 （３）学術研究が国民からの信頼, 負託に応えるものであることを理解し, 高い倫理観を身につける。 当該領域において学位認定に値する卓越した研究成果をあげ, 婦人科腫瘍学の深い学識を獲得する。
注意事項・メッセージ
（１）大学院生として, 産婦人科学の勉強, 実験に熱心に取り組んでください。その中で研究, 臨床に通じる logical thinking を身に着けて下さい。 （２）今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。